

事業シート（概要説明書）

予算事業名		バス運行管理業務		事業開始年度	2008年度	
上位施策事業名		公共交通対策		担当局・部名	都市整備部	
根拠法令等		道路運送法		担当課・係名	都市整備課交通政策係	
事務区分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		作成責任者	増田	
実施の背景		2008年10月の路線バスの撤退を契機に、路線バスの代替交通手段として移動手段を持たない移動制約者の外出手段を確保するため導入。 2008年10月 休止路線を中心に13路線へ導入。現在6路線が運行中。 2010年度 1路線（宇日日和山線）廃止 2011年度 3路線（奥山線、奥小野線、合橋資母高橋線）廃止 各地区に「チクタク」を導入 2014年度 1路線（天谷佐々木線）廃止 チクタク合橋路線延長 2022年度 2路線（竹野三原線、床瀬線）廃止 予約型乗合タクシーを実証運行中				
目 的 (何のために)		地域の生活拠点・主要バス停と地域内の集落を結ぶ地域内生活交通として運行。一部路線では、スクールバスとしての役割も担っている。				
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	利用を希望される方			対象者数（全住民に対する割合）	
					12,514	人（ 16.5 % ）
	実施方法	☐ 直接実施（直営）				
		☒ 業務委託 又は ☐ 指定管理 （委託先又は指定管理者：全但バス、メルティバス） 車両は市が購入し、委託先へ貸与 2024年現在 10台保有 気比三原線 三菱ローザ 乗車定員：29人 初年度登録：2021年12月 購入金額：13,433千円 三菱ローザ 乗車定員：29人 初年度登録：2020年12月 購入金額：13,410千円 赤石線 トヨタハイエース 乗車定員：15人 初年度登録：2008年10月 購入金額：3,736千円 竹野海岸線 三菱ローザ 乗車定員：29人 初年度登録：2016年12月 購入金額：12,475千円 三方・八代線 トヨタハイエース 乗車定員：14人 初年度登録：2020年2月 購入金額：4,838千円 トヨタハイエース 乗車定員：14人 初年度登録：2020年11月 購入金額：4,946千円 河野辺線 三菱ローザ 乗車定員：29人 初年度登録：2018年9月 購入金額：11,987千円 三菱ローザ 乗車定員：29人 初年度登録：2014年10月 購入金額：10,049千円 日野メルファ 乗車定員：51人 初年度登録：2013年11月 購入金額：16,553千円 日野メルファ 乗車定員：44人 初年度登録：2023年3月 購入金額：20,587千円				
		☐ 補助金〔直接・間接〕 （補助先： 実施主体： ）				
		☐ 貸付（貸付先：				

事業シート（概要説明書）

予算事業名				バス運行管理業務								事業開始年度		2008年度							
コスト				2024 年度（予算）				2023 年度（決算見込）				2022 年度（決算）				2021 年度（決算）					
	事業費	事業費合計			68,589千円				57,447千円				54,456千円				61,659千円				
		事業費内訳 （2023年度分）			イナカー運行管理業務委託54,609千円 （気比三原線8,182千円、赤石線5,720千円、竹野海岸線8,844千円、 三方・八代線16,848千円、河野辺線15,015千円） イナカー車両管理等経費2,838千円																
		人件費	担当正職員			0.5人		3,950千円		0.5人		3,947千円		0.5人		3,916千円		0.5人		3,949千円	
			臨時職員等			0.7人		1,960千円		0.7人		1,734千円		0.7人		1,641千円		0.7人		1,505千円	
	人件費合計			1.2人		5,910千円		1.2人		5,680千円		1.2人		5,557千円		1.2人		5,454千円			
	総事業費			74,499千円				63,127千円				60,013千円				67,113千円					
財源 内訳						千円		11,427千円				14,217千円				17,441千円					
	国県補助金	国県補助金			国県補助金の内容			市町振興支援交付金 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 【補助要件（抜粋）】 ・地域公共交通計画に運行系統の位置付け・役割、確保維持改善事業の必要性等の記載があること。 ・補助対象地域間幹線バス系統と接続するものであること。 ・補助対象期間の末日（9月30日）において引き続き運行されるものであること。 ・1回あたりの乗車人員が2人以上であること。 【R5年度補助の補助上限】 （R2国勢調査全人口-人口集中地域人口）×120円）+220万円													
		地方債					千円				千円		20,400千円				13,300千円				
		その他の財源 （使用料、手数料など）			7,932千円		千円		8,475千円		千円		8,365千円		千円		10,900千円				
		その他の財源の内容			有償旅客運送使用料収入等、過疎債																
		一般財源			66,567千円		千円		43,225千円		千円		37,431千円		千円		38,772千円				
		財源合計			74,499千円				63,127千円				60,013千円				67,113千円				
事業 実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）						単位		2023 年度				2022 年度				2021 年度			
		運行回数（気比三原線） 平日5往復10便、土曜1往復2便						便		2,537				2,552				2,542			
		運行回数（赤石線） 平日3往復6便						便		1,461				1,470				1,464			
		運行回数（竹野海岸線） 平日6往復12便+季節運行						便		2,977				2,996				2,866			
		運行回数（八代線） 平日3往復6便						便		1,461				1,470				1,464			
		運行回数（三方線） 平日5往復10便						便		2,439				2,450				2,440			
		運行回数（河野辺線） 平日5往復12便、土曜1往復2便						便		3,006				3,287				3,274			
		運行回数（竹野三原線） 2022年度：平日3往復6便 ～2021年度：平日5往復11便						便		—				738				2,786			
		運行回数（床瀬線） 2022年度：平日3往復6便 ～2021年度：平日5往復11便						便		—				738				2,786			

事業シート（概要説明書）

予算事業名		バス運行管理業務				事業開始年度	2008年度	
事業実績	単位当たりコスト	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度	
		気比三原線 運行経費	／	運行回数	円	3,225	2,733	2,744
		赤石線 運行経費	／	運行回数	円	3,915	3,132	3,144
		竹野海岸線 運行経費	／	運行回数	円	2,971	2,871	3,001
		三方・八代線 運行経費	／	運行回数	円	4,320	2,922	2,934
		河野辺線 運行経費	／	運行回数	円	4,959	4,511	4,529
		竹野三原・床瀬線 運行経費	／	運行回数	円	—	3,480	2,260
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	地域を守る公共交通の観点から、路線評価基準を設定し１年ごとに評価を行う。 路線評価期間：10月１日～９月30日 【運行継続にかかる指標】 需要種別：多様な主体の移動手段として利用されているか 最低需要基準：１日の最低運行回数３往復６便において１便あたり１人以上が乗車しているか。 収支率：運行計画が妥当で、地域全体の交通として利用されているか。 （目安20％）						
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度		
		１便あたり１人以上が乗車している （気比三原線）	人	2.00(1.23)	1.94(1.19)	1.71(1.05)		
		１便あたり１人以上が乗車している （赤石線）	人	1.18(1.18)	1.05(1.05)	1.06(1.06)		
		１便あたり１人以上が乗車している （竹野海岸線）	人	1.58(0.80)	1.48(0.75)	1.41(0.76)		
		１便あたり１人以上が乗車している （三方線）	人	3.00(1.80)	2.73(1.64)	2.51(1.50)		
		１便あたり１人以上が乗車している （八代線）	人	1.43(1.43)	1.37(1.37)	1.48(1.48)		
		１便あたり１人以上が乗車している （河野辺線）	人	2.05(1.01)	2.19(1.05)	2.23(1.07)		
		１便あたり１人以上が乗車している （竹野三原線）	人	－	0.47(0.34)	0.92(0.52)		
	１便あたり１人以上が乗車している （床瀬線）	人	－	0.68(0.49)	1.11(0.62)			
	上記実績は、10月１日～９月30日までの乗車人員と運行回数をもとに算出。 掲載している数値は、３往復６便換算で割り戻した１便あたりの利用率。 （）内の実績は実運行便数１便あたりの利用率。							
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	日常生活に最低限必要な公共交通が維持され、通院や買い物、通学などの移動手段が確保されている。 地域の生活拠点や主要バス停と地域内の集落を結ぶ地域内生活交通として運行できている。 また、スクールバスを兼ねている路線もあるため、通園通学時間を主としたダイヤ設定とならざるを得ない。 課題としては、人口減少、利用者数の減少、委託する交通事業者の運転士不足、地域特性にあった運行体制について関係各所と今後検討する必要がある。							

事業番号3			2024 年度
事業シート（概要説明書）			
予算事業名	バス運行管理業務	事業開始年度	2008年度
比較参考値 （他自治体での類似 事業の例など）	養父市 コミュニティバス 2023年度実績 3路線 運行便数 7,524便 乗車人員 20,996人 1便あたりの乗車人員 2.7人 香美町 町民バス 2023年度実績 5路線 運行便数 9,290便 乗車人員 8,831人 1便あたりの乗車人員 1.0人 新温泉町 町民バス 2023年度実績 9路線 運行便数 31,959便 乗車人員 122,748人 1便あたりの乗車人員 3.8人		
特記事項			